

おすすめ図書のご案内

Vol.1

今回のテーマは...



雪の結晶、北欧や南極など寒い地域、雪山に住むといわれる未確認生物まで...
雪に関する図書をいくつかご紹介します。

○雪の結晶ノート		1p
○雪のひとひら		1p
○イエティ		2p
○命がけで南極に住んでみた		3p
○北欧へ行こう		4p
○北極と南極		5p



えほん

5F 子ども図書館
（「ゆ」のところ）

雪の結晶はどうやって生まれるの？ なぜ六角形なの？

美しい写真とイラスト図解で、わかりやすく解説してくれる絵本です。

末尾には結晶の観察方法も載っています。



文学

5F ポピュラーライブラリー
（外国文学「キ」のところ）

雪の結晶が地上へ舞い降り、水となり、やがて蒸発して空へ還るまでを描いた物語。

自分はなぜ生まれたのか？
雪の結晶は旅のおわりに答えをみつけます。

生きる意味について考えさせられるお話です。

『イエティ ヒマラヤ最後の謎“雪男”の真実』
根深誠著 山と溪谷社 2012年



6F開架閲覧室
292.58/N61

プロローグ ヒマラヤ放浪の果て

第1章 クーンブ イエティの起源を探る
クーンブへの旅/イエティの目撃談と伝承
イエティが現れた谷へ/雪男探検隊が追い求めたもの

第2章 トルボ ヒマラヤ辺境にメテを追う
トルボへの旅/メテの正体が判明
雪男の真実に迫る/メテの生息地調査

第3章 ムスタン 生きている雪男を探し求めて
ヒマラヤの小王国ムスタンの旅/ダモダールクンド探検

エピローグ ヒマラヤ観光化の時代に

雪男は雪山に住むといわれる未確認生物です。
1950年ごろ、ヒマラヤで撮られた足跡の写真をきっかけにその名が知られるようになりました。

当時は世界各国から捜索隊が派遣されるほど、雪男という存在の真偽が注目されていたそうです。

現地の目撃情報から雪男の正体がわかると考えた筆者は、ヒマラヤ周辺地域で取材を行います。

目撃談や伝承から導き出される雪男の正体とは？
答えは本を読んで確かめてみてください。



7F開架閲覧室
402.979/W36

第Ⅰ部 見知らぬ惑星 ー南極東部沿岸

第一章 マクマード基地へようこそ

第二章 ペンギンの行進

第三章 地球のなかの火星

第Ⅱ部 どまんなかの南極点 ー中央高原

第四章 暗い冬の天体観測

第五章 コンコーディア基地で地球史を探る

第Ⅲ部 南極半島は観光地 ー南極西部

第六章 人間が残した指紋

第七章 だれもしらない南極西部

世界の氷の90%が集まるといわれる南極大陸。
そこでは世界中の科学者たちが海面上昇や温暖化、
南極の未知の生物について研究をしています。

過酷な環境のため、滞在中に心を病んだり、怪我を
したり...時には命を落とすこともあるそうです。
しかし話を聞いてみると、南極での生活に幸福を感じ
ている人も少なくないのだとか。

いったい南極の何が人々を惹きつけるのでしょうか？
筆者は南極での取材を通して、南極の厳しさ、そし
て魅力を明らかにしていきます。



- 魚のおいしいノルウェー
- スウェーデンのクリスマス
- 雪のラップランド ―フィンランド冬編―
- アンデルセンのデンマーク
- 白夜のカレリア ―フィンランド夏編―

6F開架閲覧室
293.89/I32

猫のダヤンで知られる絵本作家、池田あきこ先生によるスケッチ紀行シリーズのひとつです。

こちらの北欧編では、ノルウェーやスウェーデンなど4か国を訪れます。

北欧の美しい自然、フィンランドでのサウナ、トナカイそりなど...旅で体験したさまざまな出来事を、素敵なスケッチとともに紹介しています。

ダヤンの絵本は5Fこども図書館にもあります。
興味のある方はぜひ読んでみてください。

『北極と南極 生まれたての地球に息づく生命たち』
田邊優貴子著 文一総合出版 2015年



7F開架閲覧室
402.977/Ta83

はじめに/北極と南極って？/気候と氷の話
私の調査地/極地の陸上生態系/Column1 オーロラ

北極編

北極に広がるお花畑
地球を旅する鳥
北極での暮らし
Column2 白夜と極夜

南極編

動物が繋ぐ海と陸の生態系
花を咲かせない原始の植物
生命の起源を探る不思議な湖
Column3 彩雲と地球影

北極への旅路/南極への旅路/極地のルール/あとがき

北極と南極、2つの違いを皆さんは知っていますか？

南極には陸地があるけれど北極にはない、
北極と南極では最低気温が**10度以上**も違う、
白夜と極夜が起こる時期が真逆...などが挙げられます。

生息する動物にも違いがあります。
例えば、北極にはペンギンがいません。

この本では北極、南極に生きる植物・動物に焦点を
当てて、それぞれの生態系を紹介しています。

動物の写真がたくさん載っていて読みやすい**1冊**です。